

## アジア編:

### 企業統治、コンプライアンス対応を重視した企業 IT 投資

アジア太平洋地域の企業向けソリューション市場において、企業統治、コンプライアンスという観点からの IT 投資が増加傾向にある。調査会社 IDC が 2008 年 4 月 18 日付で発表した調査結果によれば、日本を除くアジア太平洋地域における企業向けアプリケーション市場は、2007 年、64 億 3 千万ドルとなり、今後 5 年間も年平均成長率 11.6% 増で、2012 年には 111 億 6 千万ドルに達すると発表した。同市場成長の牽引役は、企業統治及びそれに関連した法律・規制へのコンプライアンスを実現するために必要とされる Enterprise Resource Management(ERM) や企業向けコンテンツ管理 (ECM) 関連のアプリケーションで、2007 年の市場シェアはそれぞれ 25.2% (約 16 億ドル)、21.7% (約 11 億ドル) となっている。こうした傾向は、アジア太平洋地域に限定されたものではなく、世界的な動きでもある。例えば、4 月 22 日付で調査会社 Gartner が発表した 2008 年の世界セキュリティ・ソフトウェア市場予測においても、法規制コンプライアンスという要素が、企業による IT セキュリティ投資決定で重要な役割を果たしているとする見方が示されている。